

本庁舎建替基本設計プロポーザル案(低層部)について

石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同企業体
建築設計主任技術者 千葉学

プロポーザル基本コンセプト

①「技術」への過信を再考する／素朴な技術の活用

窓を開けて換気ができる、自然光で活動ができる
大規模集約型ではなく、小さく分節された空間

②もう一つの家／小さな活動の場の連鎖

仙台で培われてきた市民活動／協働の力をそのまま庁舎に接続する
用事がなくても行ってみたくなる庁舎＝災害時における安心安全な庁舎

③市民の誇り／市庁舎のシンボル

仙台の潜在的な魅力を引き込み、顕在化させる
市民が改めて街の魅力・自然の豊かさを再発見し、誇りがもてる庁舎



様々なスケール、多彩な活動が広がる街路空間こそ、仙台の街の最大の魅力の一つ



定禅寺通のケヤキ並木



県庁前のイチョウ並木



勾当台公園

←定禅寺通→

←県庁

市民広場

番町
商店街

本庁舎屋上より

豊かな緑や、人々の多彩な活動が広がる敷地の魅力を引き込むような庁舎



〈みせ〉

〈みち〉に沿って軒を連ねる大小様々な市民活動・協働の拠点

〈みち〉

街路を引き込んだ空中歩廊
市民の日常の散歩道となる

一番町商店街からの軸線

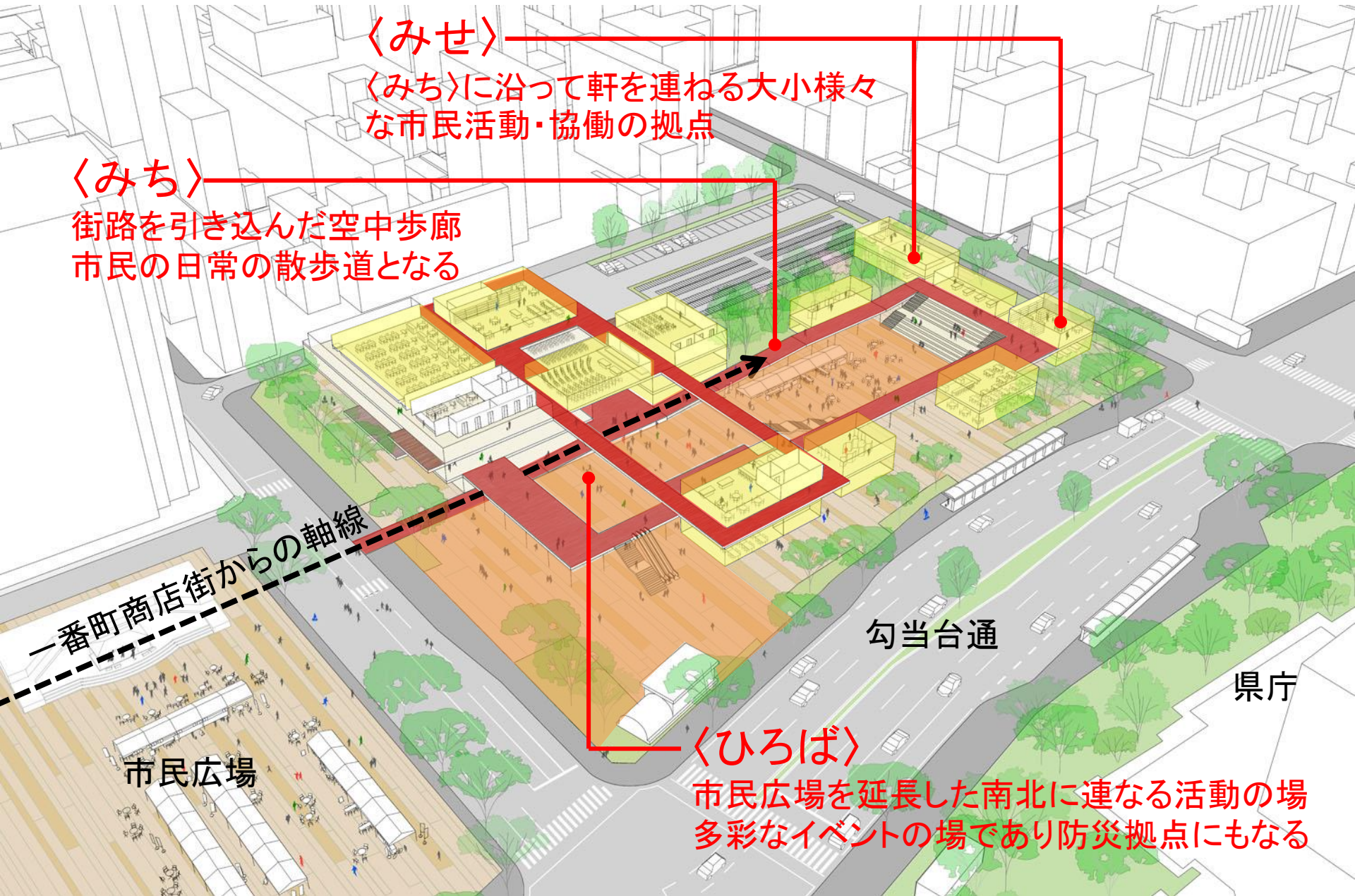
市民広場

勾当台通

県庁

〈ひろば〉

市民広場を延長した南北に連なる活動の場
多彩なイベントの場であり防災拠点にもなる





3階の〈みち〉から市民広場・一番町商店街をみる

自由に散策できる〈みち〉からは内外の多彩な活動が垣間見える

駐車場 駐輪場
(23台) (500台)

車寄せ・
身障者用駐車場

街路に沿って
街並みをつくる〈みせ〉

イベント時の観客席
にもなる大階段

杜の緑と一体となった
青空の〈ひろば〉

雨の日でも使える
軒下の〈ひろば〉

地下鉄
出入口

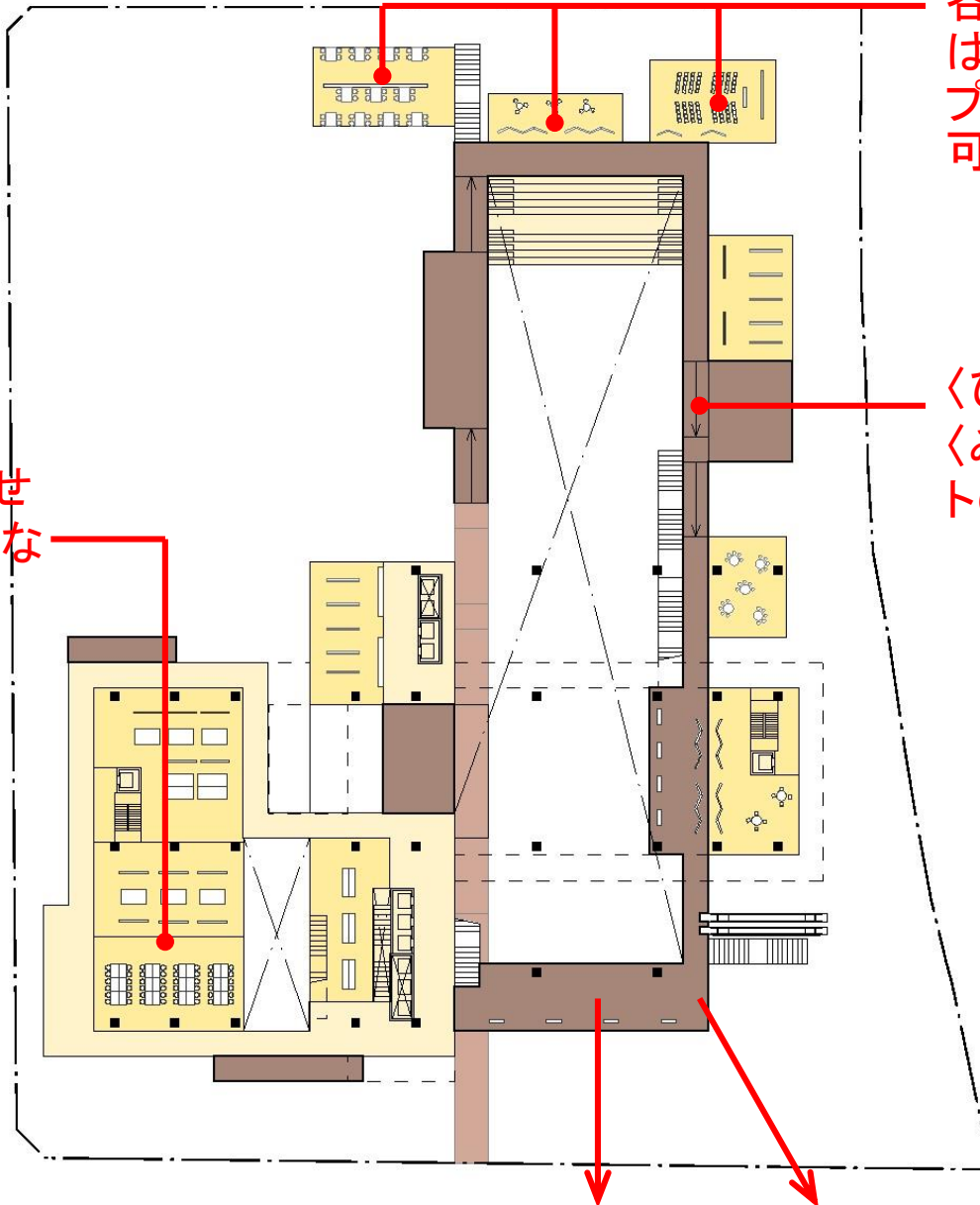
一番町商店街からの人の流れ
を迎え入れる2階へつづくスロープ

1階平面図



各〈みせ〉の大きさや配置は今後の低層部のコンセプトに応じて柔軟に対応可能

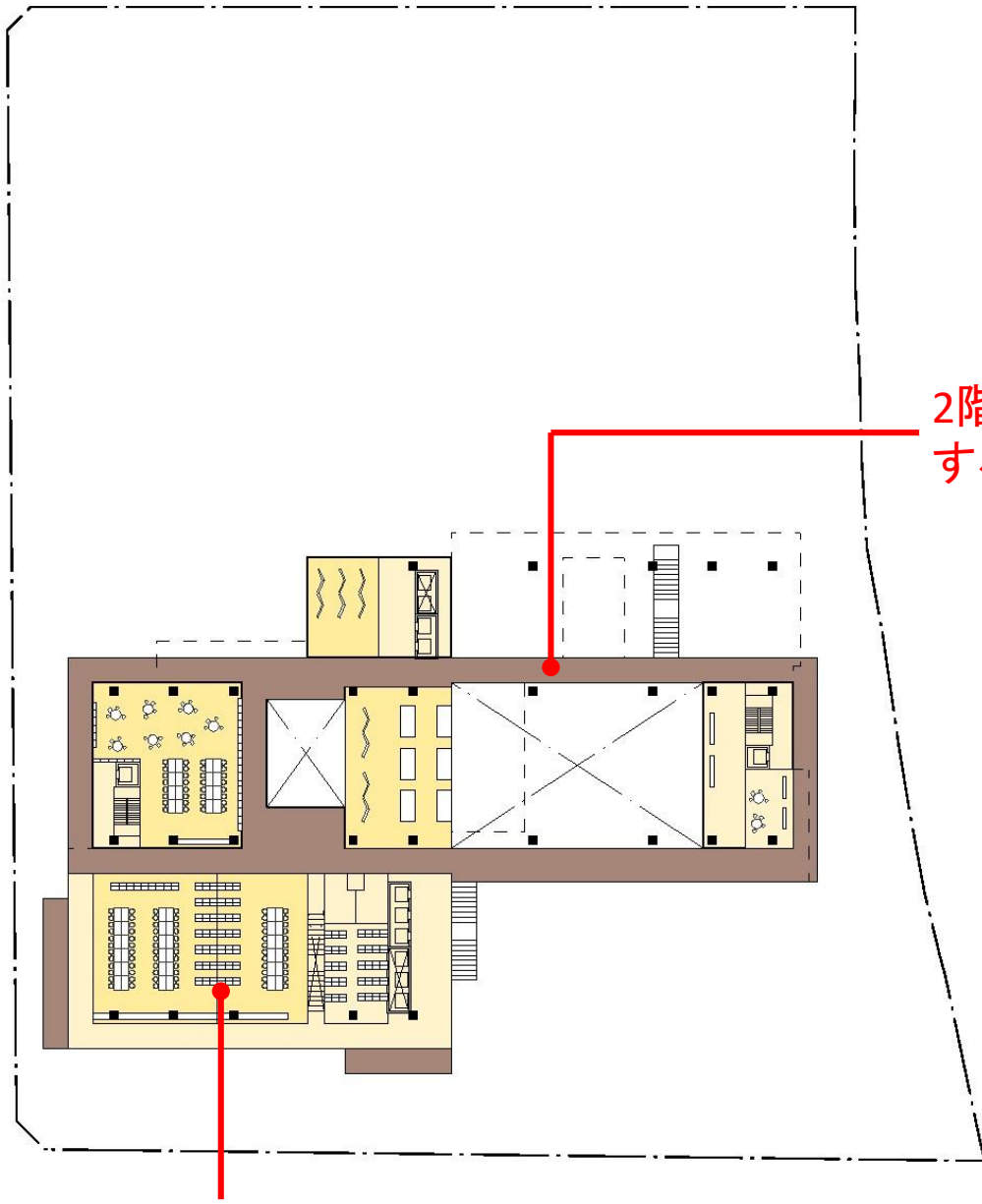
〈ひろば〉を緩やかに囲む〈みち〉からは街やイベントの様子が見渡せる



市民・職員の打合せや休日開放も可能な共用会議室

市民広場の活動や勾当台公園の緑を見渡せるテラス

2階平面図



2階レベルと立体交差する〈みち〉

市民利用の多い窓口機能を低層部に配置

3階平面図



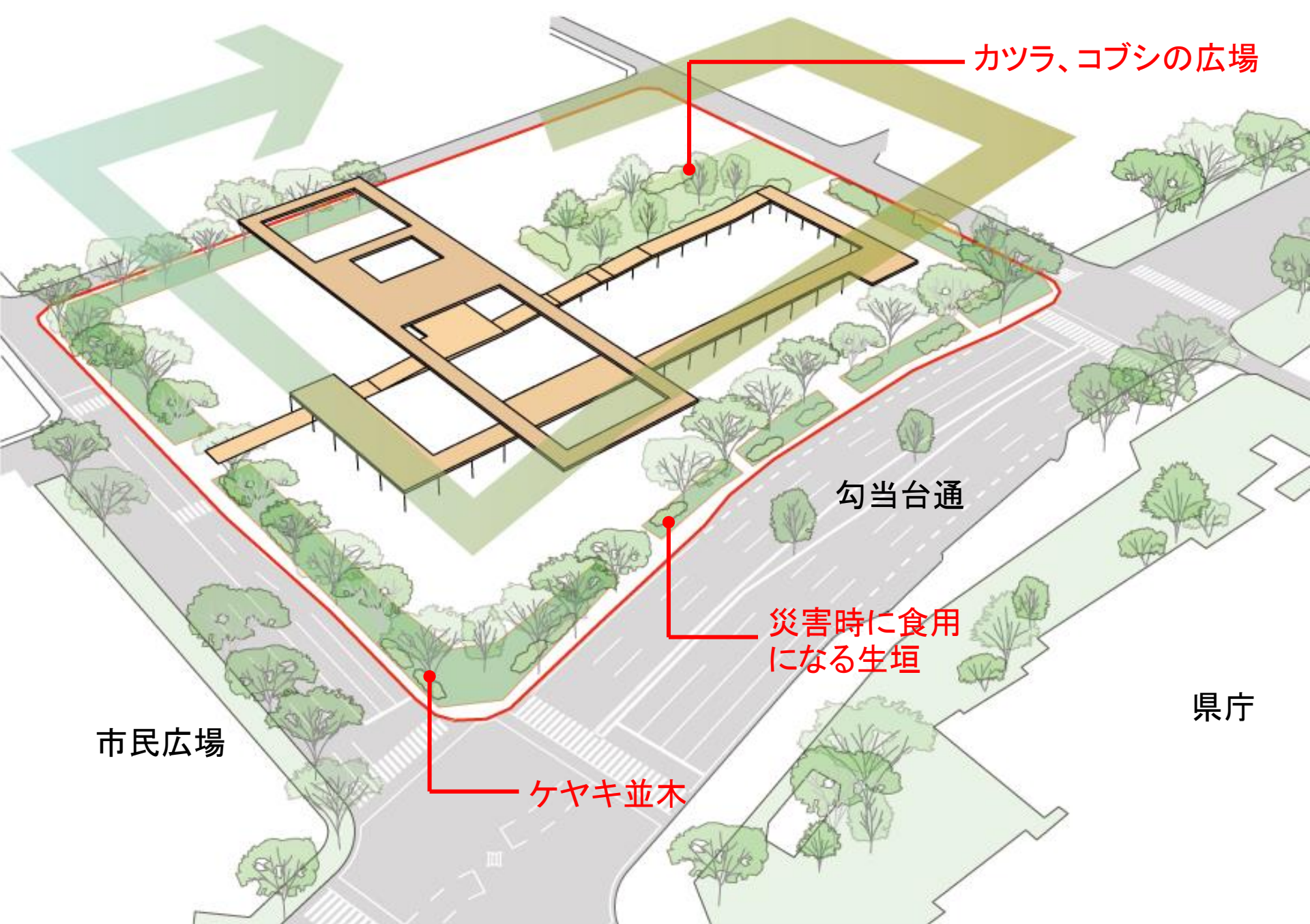
市民広場側から南北につづく〈ひろば〉を見通す

空中を巡る〈みち〉は来庁者を迎え入れる庇にもなる

東側から見た庁舎全景



街路に沿って〈みち〉〈みせ〉が連なり、活動と緑が一体となった仙台ならではの風景をつくる



カツラ、コブシの広場

勾当台通

災害時に食用
になる生垣

県庁

市民広場

ケヤキ並木

敷地全体で緑のグラデーションをつくる

